

# 温篤新聞

通巻168号



## 『この世は巧妙に出来ている?』

先日、当院の待合室にもサインが飾ってある市川猿之助さんの自殺未遂の報道があり、サインを頂けた間柄というのもあり心を痛めているのですが、最近のマスコミ報道の意義が少し間違った方向に行っているのではないかと疑問を感じています。

幸い猿之助さんは一命を取り留めましたが、マスコミ報道に心を痛められたであろう猿之助さんには自殺ほう助の罪の容疑がかけられているにも関わらず、ご両親二人の命を失う引き金となったであろうマスコミ側には

何の音沙汰が無い現状に憤りを感じます。本来、人があつて法律が存在したはずなのに、いつの間にか法律があつて人が存在し、道徳に反しても法律に反しなければ許されてしまう世の中になってしまったように思います。

ジャニーズ事務所問題においても、生前から情報はあつたのに、亡くなった途端に一斉攻撃のように報道する事にも報道側の忖度が働いていたと思えません。少し前になりますが、元総務大臣の高市氏と総務省の「政治的公平に関する文書」の問題がありま

## 医食同源

### ピーマン

夏野菜の中でも、ビタミンCとビタミンAが豊富で、夏バテ予防、疲労回復、風邪の予防などに効果が期待できます。胃腸を温めて、消化器の働きを妨げる余分な湿気を除くので、胃腸が弱つてもたれる時などにもオススメです。

毛細血管を丈夫にするビタミンCやコレステロールを抑制する葉緑素を含み、動脈硬化にも良いとされます。シミの予防、便秘解消など美容効果も期待できます。



## 今月のツボ

### 委陽(いよう)

「委」は、ゆだねるから転じて、まかす・従う・曲がるなどの意味があります。「陽」は陰陽の陽です。太ももの外側を陽、内側を陰とするところから、膝の曲がり目の外側にあるという意味になります。



場所は、うつ伏せに寝て膝を伸ばし、膝の後ろにある横ジワの中央から外側に指幅2本分ほどの所に取ります。背中や腰が痛い、膝の後ろが痛む、尿が出にくい、坐骨神経痛、膀胱炎などの症状に用いられます。

調べてみると安倍内閣時代にアベノミクスと称し経済政策を掲げたのですが、街頭のインタビューでアベノミクスの恩恵を感じないというコメントを報道した事に関して、政府側が報道に偏りがあると異を唱えました。これに対して時の総務大臣である高市氏が政治的公平性を欠いている報道を行う場合はテレビの電波を停止を命じる可能性があると圧力をかけたのです。

日本のテレビ局は国から認められた所だけが免許を与えられて放送する事が可能なので、国が認めず免許を剥奪されると放送出来なくなるので、テレビ局側は恐れているのです。しかし、この報道が間違っていないのであればメディアはテレビだけではなく、新聞社が正しく報道すれば良いだけなのですが、ここに巧妙なカラクリがあるのです。世界ではテレビと新聞がお互いに指摘し合えるよう規制しているのですが、日本ではテレビ局と新聞社

が同一で経営する制度をあえて導入し、テレビの放映免許を牛耳る事で政治家は天敵だった新聞社に間接的な圧力をかける事が出来る仕組みを作った歴史があるのです。でも、NHKだけは国営放送だから正しい報道がされると信じたいですが、これまた巧妙なカラクリで、NHKには経営委員というのがいて、そこから会長が選ばれる仕組みになつていますが、この経営委員を選べるのは政権与党なのです。こうなると必然的に与党批判となる報道ははばかれるわけです。日本の医療費も年々上がり国民への負担は増大していますが、医師会が他団体の倍以上、億単位の献金を毎年自民党にしているのも、何か巧妙なカラクリがあるのであるのかもしれないと疑ってしまいませんか。あくまでも個人的な意見ですけれど...



# 二十四節気と七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

その抛り所となったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらはだいたい五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前が付けられています。

## 二十四節気

### 大暑

(7月23日)

文字通り、一年で一番暑さの厳しく感じられる頃になります。ウナギで知られる「土用の丑」もこの期間中にありますし、「暑気払い」と称してのビアガーデンでの集いもあり、ひととき賑やかにする季節です。

### 『家庭はしつけのための学校』

「家庭はしつけのための学校である」これは人類の教育者と呼ばれたスイスのヨハン・ハインリッヒ・ペスタロッチの言葉です。家庭は、子供が最初に出会う集団であり、また3、4歳頃までの教育が、子供たちのその後の人格形成に大きな影響を与えるという意味から、非常に大きな役割を持っています。

そして、親にとって家庭とは、子供が立派な社会人に育つために身につけておくべき基本的なルールや習慣、マナーなどを教える所として重要です。家庭は憩いの場、安らぎの場、愛の場としての働きを持っているのももちろんです。しかし、親の立場から家庭を見る時には、それ以上に家庭は、子供を育てる教育の場として大切な働きを持っているはずだ。

「一日一話」より



## 七十二候 (7月22日〜27日頃)

### 桐始結花

(きりはじめてはなをむすぶ)

古来、桐は神聖な木とされてきました。花が開くのは初夏。見たことがないという人も、日本政府の紋章(五七の桐)や五百円硬貨で意匠化された釣り鐘の花を目にした事があるでしょう。

薄紫色の花は、盛夏を迎える頃に卵形の実を結びます。その横では来々咲く花のつぼみが早くも膨らみ始めています。

### 枝豆

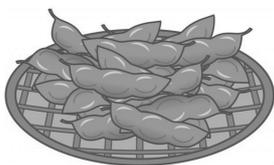
旬のやさい

大豆を若いうちに収穫したものが枝豆です。そのまま育てるとさやが枯れ、黄色く熟した大豆が採れます。

栄養学的には野菜と豆の長所を合わせもち、大豆にはあまりないビタミンAやCを有します。豊富に含まれるビタミンB1は疲労回復、必須アミノ酸のメチオニンには肝機能を助ける働きがあります。

旧暦9月13日の十三夜を豆名月という事から分かるように昔の旬は秋でしたが、現在ではビールの供として夏の食卓に欠かせない存在です。

ただちや豆(山形)や黒崎茶豆(新潟)といったブランド豆も人気を集めています。



## 7月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 執筆余話

事後報告になってしま大変申し訳ございませんが、○○○予約の枠の開始時間を変更させて頂きました。

お陰様で皆様にご愛顧頂きまして「予約を取ろうと思ったけど、時間が合わなくて…」というお声を頂けるようになりました。

何か策はないものかと以前から考えてはいたのですが、ふと閃き!!皆さんに5分ずつ分けて頂いたり工夫をしたら一週間で10枠ほど増やす事が出来ました。

こちらで勝手に時間枠を作って合わせて頂いているだけでも申し訳ないのに、開始時間が変わって、中にはタイミングが良くなった方もいらっしゃるかもしれませんが、悪くなった方もいらっしゃるかと承知しております。

少しでも多くの方のお役に立てるよう案ですので、ご理解の程、宜しくお願い致します。

